

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
1	岡山県	産業振興	UD啓発ワゴンサービス事業	ユニバーサルデザインの県内全域への浸透を図るため、啓発パネルやUD製品、UD体験用具等に乗せたワゴン車による巡回啓発サービスを行うとともに、来訪者を対象にしたアンケート調査を行い、UD製品開発の基礎データを集積し、岡山発のUDに配慮したもののづくりを促進する。
2	岡山県	産業振興	中山間地域等空き家流動化推進事業	定住促進のための空き家の活用に意欲を持って取り組む市町村の区域内における、現地調査、所有者の意向確認等を通じた空き家情報の掘り起こしと流動化を、NPO法人等に委託して実施する。
3	岡山県	介護・福祉	手話通訳アシスト事業	福祉ニーズの多様化・増大に伴い、各種福祉関係大会、障害者本人や関係機関等から幅広く要請のある手話通訳需要に対応し、また、全国都市緑化おかやまフェアや国民文化祭の開催期間中及び準備期間中に必要となる「手話通訳アシスタント」を設置し、要請に応じて派遣する。 また、派遣がない時はきらめきプラザに配置し、来館者に手話通訳を行う。
4	岡山県	介護・福祉	字幕挿入ビデオ作成事業	講演会や研修会等を録画したビデオ・DVDを、聴覚障害者センターにおいて貸出用として整備するため、ビデオやDVDに字幕を挿入する。
5	岡山県	産業振興	産業活性化推進事業	厳しい経済情勢の中、新商品・新技術の開発等は中小企業の存続を左右する大きな要素であるため、県内中小企業が失業者を雇用して行う新商品・新技術の開発や大学等と共同で行う研究開発事業等について支援する。
6	岡山県	環境	環境産業サポート推進事業	産業廃棄物を再資源化する循環型産業の重要性が高まっており、様々な産業廃棄物の状況を把握するため、環境サポーター指導の下に環境産業推進員2名を新たに配置し、より多くのデータ収集を行い、企業が求める最新情報等を提供する。
7	岡山県	産業振興	建設業応援コーディネーター設置事業	現在、建設業経営・職業相談センターにおいて、専門相談員による窓口相談等を実施しているが、十分な対応が難しくなっているため、それらを補助する「応援コーディネーター(現地相談員)」を新規に雇用し、建設業者の経営の改善等、経営基盤の強化を促進する。
8	岡山県	産業振興	農商工連携・ITコーディネータ設置事業	農林漁業者と商工業者、IT事業者の連携による生産性の向上・高品質化をITの利活用により図る、農商工連携・ITコーディネータを設置する。コーディネータは、両者のニーズとITの知見を活かし農産品や加工品等についてSCMの具体的成功事例の創出を図る。
9	岡山県	産業振興	ソーシャルビジネス創出支援事業	農業や介護などの人手が不足している分野にコミュニティビジネスを根付かせることにより、人手不足の解消と新たな雇用を創出するため、コミュニティビジネス2団体×上限2人を公募し、実施委託する
10	岡山県	産業振興	緊急経済対策事業	県内受注企業を率いて、県外の大手製造メーカーとのマッチングを行う。さらに県内企業の受注能力や設備を段階的にレベル分けするため、既存のデータベースを整理し、県内マッチング用のデータベースを構築する。
11	岡山県	産業振興	岡山県の産業に関する広報・PR及び情報提供事業	世界的経済危機に対し、県の推進する各種施策や支援制度の広報を積極的に行うことで、県内企業の経営改革の一助とするため、産業に関する県の制度等を取りまとめ、県内の官公庁や支援機関の広報誌に掲載できる原稿を作成する。
12	岡山県	教育・文化	正規雇用サポート事業	フリーター層の高年齢化に対応するため、35歳以上概ね40歳未満の者に対するカウンセリング、職業相談、職業紹介を実施する。併せて就職後の若年労働者の職場定着を図るとともに、やむを得ない離・転職の相談に対応することを目的として在職者向けのカウンセリングを実施する。
14	岡山県	産業振興	岡山県産業・技術アピール事業	県内には優秀な企業や技術が集積しているにも関わらず、そのことが、内外に十分に周知されているとは言えない状況であることから、本県産業、企業、大学研究者等に係る研究・技術を県内外に効果的にアピールすることにより、岡山県産業の競争力を高める事業を委託により実施する。
15	岡山県	産業振興	中小企業情報通信関連新分野進出支援モデル事業	活力に満ちた岡山づくりのためには、独自の高い競争力で成長する産業の育成や、岡山ならではの優位性を活かした産業振興を図ることが重要である。 このため、全国最先端の県内情報基盤を効果的に活用することができ、なおかつ、情報関連事業のうち雇用創出力が高いコールセンター等の分野への進出を目指し、県内中小企業が実施する事業をモデル的に支援することにより、情報通信関連産業の活性化を図る。
13	岡山県	産業振興	若年無業者ピア・サポート事業	ニート・フリーターの経験を持つピア・サポーターが、現に若年無業者である支援対象者に寄り添い支援し、互いの心をサポートし合い就労に向けた自立を目指す。
16	岡山県	産業振興	まちかど労働相談事業	労働者や失業者がより身近で気軽に労働相談を受けることができる環境を整備し、労働者や離職者が直面する労働・生活全般にわたる総合相談を実施する。
17	岡山県	産業振興	備前焼産業振興事業	地域産業である備前焼業界の活性化を図るため、地域が主体となった振興策の実施等を支援する。
18	岡山県	観光	おかやま観光PR事業(旅行エージェント対策)	実効性ある観光客誘致策を展開するため、県内の観光素材・イベント情報を収集・整理し、旅行エージェントに対しタイムリーに情報提供を行う。

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
19	岡山県	観光	アクセスユーザー所在地域別観光コンテンツ提供事業	多様化する観光情報ニーズに的確に応えていくため、観光客(=アクセスユーザー)の所在地別コンテンツを作成・公開し、アクセスユーザーが求めている情報ニーズを満たす有用で有益な観光情報を提供するモデル事業を実施し、その効果等を検証する。
20	岡山県	産業振興	おかやまRUBYビジネス活用推進事業	生産性が高く将来性が期待されている中国地域発のプログラミング言語「Ruby」の普及啓発及び若手人材の育成を促進する。
21	岡山県	産業振興	障害者就労サポート事業	障害者就労支援員を配置することにより、障害者の能力や適正等を踏まえた障害者の就業を支援し、職場定着を図る。
22	岡山県	産業振興	発達障害者就労支援事業	発達障害のある人を対象に、各種相談、臨床心理学に基づく面談、心理学的課題・職業能力の適正に関するアセスメント等を実施するとともに、講演会の開催、職場開拓を通じて就職促進を図る。
23	岡山県	産業振興	新規学卒者等就活アシスト事業	学校等からの要請を受け、進路決定にあたってのアドバイスや実際の就職試験に向けた対策などについて、学校等への出張などにより適職診断、職業相談、面接対策など行うとともに、平成22年3月卒業の未就職者に対しては、おかやま若者就職支援センターにおいて、定期的なセミナー、グループワークを開催する。
24	岡山県	産業振興	ヤングワークサポート事業(インターンシップ受入企業開拓事業)	インターンシップを学生・企業に周知・啓発するとともに、受入企業を開拓し、マッチングが円滑に進むよう支援する。また、大学生職業意識を啓発するためのセミナー等の開催やキャリア形成のためのガイドブックを作成を行う。
25	岡山県	産業振興	企業連携による繊維産地活性化事業	県内の繊維企業訪問による企業ニーズの把握と把握したニーズを踏まえた企業連携の促進など様々な支援事業の企画、さらには支援機関としての相談機能の強化に向け、繊維企業を対象とした総合相談業務等を実施する者を雇用し、県内繊維産業の振興を図る。
26	岡山県	観光	スマートフォン観光総合サイト構築事業	モバイル・スマートフォン等の携帯端末を使った現地情報提供システムを活用し、全国へ向けての情報発信に加え、岡山に来られた方へのリアルタイムの現地情報発信システムを整備し、場所・時間を選ばず情報が入手できるよう継続的な情報発信を行っていく。
27	岡山県	観光	おかやまご当地グルメPR事業	本県への誘客につなげるため、県内のご当地グルメ情報の総合的かつ効果的なPRを行うとともに、県内各地域のグルメ推進団体間の連携や新たな取組への継続的な支援を行い、本県の観光振興を図る。
28	岡山県	農林漁業	ふるさと農業支援事業	地域が必要とする農業労働力を確保するため、農業に関心のある若者等を農作業支援隊員として、雇用し、農作業の準備作業や、収穫作業等に従事する。
29	岡山県	農林漁業	ふるさと森林整備事業	手入れが遅れている森林を整備するため森林整備支援員として雇用し、水源かん養や洪水、土砂崩れの防止、レクリエーションの場の提供など、多面的機能を発揮する森林として整備を行う。
30	岡山県	産業振興	農商工連携促進事業	農産物の産地と商工団体、流通関係者との連携を図るために農商工連携促進コーディネーターを設置し、安定的な需要(販売先)の確保や、市場ニーズ等の的確な把握に資する。
31	岡山県	産業振興	ふるさと農産物販売促進スタッフ設置事業	県産農産物(農産・園芸作物)を県内外でPRし、消費拡大や販売促進を図るためのスタッフを設置する。
32	岡山県	産業振興	水産物流通販売促進事業	鮮魚から加工品販売まで総合的な流通システムを構築するため、魚介類の仕入れ・販売の経験やホームページの作成のスキルを持つ者を雇用し、需要調査やインターネットを利用した水産物の情報提供等を行う流通販売促進スタッフを設置する。
33	岡山県	教育・文化	子ども向けデジタル絵本制作事業	県立図書館が運営する電子図書館システム「デジタル岡山大百科」から発信する新しいコンテンツとして、「デジタル絵本」を制作する。ついては、そのデジタル絵本の素材となる絵の制作を民間事業者へ委託する。(各年60作品、計180作品)
34	岡山市	観光	ももたろう観光情報センター運営事業	岡山の歴史と文化(史跡、旧跡、おかやまゆかりの人物、郷土料理、伝統芸能、伝統産業など)の研究、紹介を通じて市民と観光客との交流を促進するため、今までになかった新しい拠点の運営を行う。
35	岡山市	介護・福祉	障害者作品販売促進事業	障害者施設や障害者小規模作業所等が制作した作品を展示・販売している福祉の店に、オンラインショップの開設を委託することにより、障害者の授産活動を広く啓発し、また、販売活動を通じて障害者の工賃向上や障害者雇用の促進を図る。
36	岡山市	教育・文化	ふれあいセンター情報コーナー相互利用推進事業	ふれあいセンター所蔵の福祉関連資料や児童書などを、広く市民に供するため、岡山ふれあいセンターへ1名の図書配送員を配置し、各ふれあいセンター等で相互利用できるようにする。基金事業終了後は、指定管理者において事業を継続する。

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
37	岡山市	産業振興	区役所宿日直事業	宿日直業務を区役所で新規に実施するもの。現在、宿日直業務を行なっている、本庁(北区)と西大寺支所(東区)以外の中区、南区については、新規に実施。業務内容としては、郵便物の收受、戸籍法等関連業務、市民からの相談業務などを行ない、一層の市民サービスの向上を図る。基金事業終了後は、市において事業を継続する。
38	倉敷市	観光	観光情報WEB発信事業	イベント等の取材による観光情報の収集及び情報整理、観光情報の更新(入力)などを行う。また、地域にある旬な情報を収集、掲載する地域リポーター(観光ブロガー)の獲得と、インターネットを活用した情報発信のノウハウを地域リポーター(観光ブロガー)へ提供していく。
39	倉敷市	教育・文化	学校図書館情報化事業	市立小・中・高等学校、特別支援学校の学校図書館の情報化の準備を行なう。①学校図書館にある図書にバーコード装備を行なう。②図書館システム用機器を使用して、学校図書用データベースサーバへの登録処理を行なう。なお、これらの事業は3か年経過後も継続して行っていく予定である。
40	倉敷市	教育・文化	美術資料等管理活用整理事業	美術館が所蔵する美術資料(書簡等)、図書資料、文献資料(新聞記事等)を継続的に整理し、毎年発行する「年報」の作成や「収蔵品目録」の作成及び更新を行う。なお、これらの事業は3か年経過後も継続して行っていく予定である。
41	倉敷市	産業振興	地場産業等中小企業人材活用支援事業	個性と魅力ある地域経済の発展を目的に、繊維産業やいぐさ製品製造業、醸造業等の倉敷市の地域資源を活用する地場産業の発展を職人の育成により支援するほか、ベンチャーや中小企業者が営業やIT、技術、経営面などの経験を有する人材を、失業中の者から採用し、新製品や新サービスの開発等新たな事業展開を図る支援を行う事業
42	倉敷市	産業振興	創業サポート・産学連携推進事業	平成23年4月に新たに児島駅前開設する(仮称)児島産業振興プラザにおいて、6室設ける予定のデザイナーズインキュベーション(DI)入居者の経営相談や商品開発・販路開拓の助言を行うほか、倉敷市周辺のデザイン系の大学や専門学校等の教育研究機関と繊維産業等の産学連携事業の橋渡しを行う。
43	津山市	産業振興	「ステンレス加工津山」ブランド推進事業	つやま新産業創出機構に専任アドバイザーを配置することで、津山のステンレス加工技術・加工製品を全国に広くPRし、全国各地からの受注を目指すために展示会に出展する。また、相互の技術・知識・設備等を有効に活用する仕組み、より一層の産学官連携を図る仕組みを築き、受注の増加につなげる。
44	津山市	観光	観光キーパーソンを活用した人材育成・地域観光振興促進事業	観光振興分野におけるキーパーソンと将来性のある人材を全国公募で発見し、(社)津山市観光協会に雇用する。これからの観光の核となる「着地型観光」に対応するため、専門知識や経験、あるいは熱意を持つ人物を3年間雇用し、「旅行商品の企画・運営・営業」に取り組む。ウェブサイト物販やバナー広告収入を含めたITによる情報発信力の強化も合わせ、収益をあげて地域に貢献する観光協会づくりをめざす。
45	津山市	産業振興	まちづくりコーディネーター委託業務	近年、モーターゼーションの進展とともに大型ショッピングセンターが郊外へ立地する等全国各地と同様に中心商店街への影響が生じている。まちづくり活動拠点施設として整備された「まちなかさろん再々」を市民の憩いと交流の場・展示会場・まちづくり市民団体の会議・研修会・地元商業高校との連携などを通じ中心市街地(商店街)の活性化をコーディネートする。
46	津山市	産業振興	まちなかさろん再々管理運営委託事業	中心市街地の活性化を目指し、まちづくり活動拠点施設として整備された「まちなかさろん再々」「ラビント広場」を市民の憩いと交流の場だけでなく、展示会場・まちづくり市民団体の会議・研修会・地元商業高校との連携などの場として新規に事業を実施し、さらなる賑わいを創出し管理運営をする。
47	津山市	産業振興	津山市就職促進事業(就職相談員)	派遣・契約社員等の雇い止め事前通告により解雇及び正社員、非正規社員等の雇用調整による退職者に対して、職種業種の選択・待遇の確認・有している資格の発揮などの活用により、求人・求職のマッチングを図り、早期就職のための相談業務を行う。
48	津山市	環境	景観・広告物等マネジメント事業	津山城跡を中心とした旧城下町の町並みを残す中心市街地において、特にまちなみ景観や屋外広告物を中心に、市民意向調査、課題の把握、市民・企業・自治体のコーディネート、デザイン等の方針検討、社会実験・実践活動等について、地域や行政と連携しながら継続的なマネジメント(管理・運営)に取り組む。
49	津山市	介護・福祉	公共施設等のバリアフリー推進事業	中心市街地において、道路、公園、交通施設、公共性の強い民間施設等について、行政や地域と連携しながら、バリアフリー化の状況(対応済み、段差・危険箇所等のバリアの存在等)の調査を行うとともに、事業効果やコストも踏まえた今後のバリアフリー化の方針検討、改善が必要な箇所のコーディネートやマネジメントを推進する。
50	津山市	産業振興	津山ファンクラブ運営事業	市外でチャレンジする津山市出身の若者などを、ふるさとである津山市民が一体となって応援するため「津山ファンクラブ」を設立する。市外でチャレンジする津山市出身の若者などの活動情報を津山市民にお知らせするとともに、津山出身の市外でチャレンジする若者にも、津山市の情報を提供し、ふるさと津山との結びつきを深めていく。
51	津山市	産業振興	まちのコンシェルジュ配置・養成事業	コンシェルジュとは、訪れる人が満足できるサービスを提供するための「総合世話係」「よろず相談係」である。まちのコンシェルジュは、津山をよく知り、城東・城西をはじめとした市街地を訪れる人に様々なサービスを提供するだけでなく、自らの工夫で、マスメディアをはじめとした外部への情報発信、行政や地域との連携、市内美化や自転車整理、社会実験等に主体的に取り組む。

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
52	津山市	産業振興	地域産品販売促進支援事業	津山地域の各事業者が製造販売している特産品について、広告宣伝、受注、商品発送、納品、受領確認、アフターフォロー、顧客データ管理、アンケート等によるマーケティングなど一連の販売管理業務を一元化し、特産品の販路開拓、個店の販売コストの軽減を図る事業
53	津山市	産業振興	「地域づくりあぐりコーディネーター」による地域特産品開発・販路開拓事業	農産物加工施設を持つ「あばグリーン公社」で「地域づくりあぐりコーディネーター」を雇用し、意欲的な生産者及び加工業者を連携させ商品開発を行うとともに、新たな流通チャンネルの開拓にも取り組むとともに、ウェブやNPOを用い観光資源を発信し、農作業体験や農産物の加工及び宅配など、新たな農業サービスの開発と販売を積極的に行う事業
54	津山市	産業振興	中心市街地活性化協議会支援委託事業	津山市中心市街地活性化基本計画(認定申請予定)に位置づけられた核事業である「まちなか市場(仮称)」及び「つやま鉄板村(仮称)」について、開業準備に関する支援、開業後の一連の販売管理業務を支援することにより、両事業のスムーズな立ち上げにつなげ、事業の安定化を図る。
55	津山市	産業振興	観光・物産PRキャラバン隊事業	各種イベント等において津山市の観光・物産について幅広いPR活動を行う専門的な技能を有するグループを結成する。
56	玉野市	産業振興	商業活性化コーディネート事業	事業者へのアンケート・消費者ニーズ調査などの定期的な実施、また中心市街地活性化に関連した商業団体や民間事業者等の支援や取次などの事務・調整を行う「商業活性化コーディネート事業」を、商工会議所業務との連携、移行を視野に、玉野商工会議所に委託して実施する。
57	玉野市	産業振興	中小企業競争力強化事業	玉野市の基幹産業である造船業をはじめとした中小企業の経営課題や問題点を調査・把握し、これを解決するためのアドバイスやOB人材等とのマッチング、各種産業支援機関とのコーディネート等を行い、中小企業の競争力や技術力の強化を図るため、玉野産業振興公社業務との連携、移行を視野に、玉野産業振興公社へ委託して実施する。
58	玉野市	観光	地域観光振興事業	市内の観光資源を掘り起こし、新たな特産品の発見や商品化、マーケットの開拓、調査などを委託して実施する。また各観光施設を結んだモデルコースの策定や旅行会社への売り込みなどを委託して実施する。
59	玉野市	治安・防災	防犯指導員設置事業	振り込め詐欺、自転車盗難等住民に身近な犯罪を未然に防ぐため、セミナー等で細やかな啓発・防犯指導をするとともに、青色防犯パトロールの実施促進のための相談・指導業務等を実施する事業
60	笠岡市	教育・文化	笠岡市立図書館管理事業	笠岡市では、学習や文化活動、地域住民とのふれあいができる「子ども図書館」を平成21年3月までに整備予定である。その中で子どもや子どもたちの保護者向けの事業(赤ちゃん向けお話の会や布おもちゃづくり、ブックスタートの企画運営、親と子ども達のための読み聞かせ等)を行う。なお、本事業終了後は、ソフト・イベント事業は、引き続き、外部へ委託し、継続的な雇用は確保できると考えている。
61	笠岡市	教育・文化	笠岡市遺跡遺物整理事業	笠岡市が発掘調査した遺跡(長福寺裏山古墳群、木々名古墳、大飛鳥遺跡など)の遺物整理、発掘調査の整理を行う。また、笠岡市史編纂のため収集した多くの古文書・記録等を整理する。概ね3年間の事業計画の後、整理した資料の公開活用、すなわち古文書公開のためのデータ化、歴史資料館の整備事業などを順次行う。これによって、さらなる雇用の継続が見込まれる。
62	笠岡市	教育・文化	郷土出身文学者顕彰活動委託事業	郷土の文学者の顕彰活動をさらに充実させる本事業を契機に、市民文化の向上を図り、事業終了後も継続した活動にしたいと考えている。①木山捷平顕彰活動の充実・木山捷平関係資料の収集・整理・データベース化。資料・顕彰活動等の公開・広報(小説部門・詩部門の著作物等関連資料を分類・整理及び市民への公開)・図書館改修に伴う「木山捷平文学コーナー」の拡充・充実 ②森田思軒顕彰活動の充実・森田思軒関係資料の収集・整理・データベース化。資料・顕彰活動等の公開・広報
63	笠岡市	産業振興	笠岡諸島振興事業	県下最大の離島地域である笠岡諸島の振興については、島民組織である「NPO法人かさおか島づくり海社」(以下「海社」)に診療所送迎バスの運行、イベント開催や観光客誘致、ホームページによる情報発信等を委託しているが、諸島地域の活性化を更に推進するため、新たに各島の地域課題(環境、起業等)に応じた振興策の企画実施業務等を海社に委託して実施する。
64	笠岡市	介護・福祉	ボランティア・福祉活動促進事業	ボランティア活動の促進に向けて、人材の育成、情報提供等を行うとともに、福祉活動のコーディネートを行い、多くのマンパワーを利用して地域を活性化していく。ボランティア活動としての枠を広く捉え、インフォーマルなサービスの一端を担える活動を行う。事業終了後は、社会福祉協議会において、事業を継続実施される見込みであり、雇用の継続もみこまれる。
65	笠岡市	介護・福祉	ふれあい・たすけ愛サービス事業	陸地部だけでなく島しょ部の外出困難者や、高齢者の生活課題支援を行う事業に取り組み、地域で暮らせる共助システムの構築を図る。
66	笠岡市	教育・文化	フリースペース設置事業	①「家庭に引きこもっている児童・生徒」に対し、教育支援センターや学校につながるまでの社会的な居場所を提供する。 ②保護者をはじめ、学校や教育支援センター・自治体と協力し、引きこもっている児童・生徒が自己や他者への信頼と生活リズムを取り戻し、健全な成長ができるための自立支援活動を行う。 ③保護者に話し合いの場や研修の場を提供し、精神的な不安を軽減するための活動を行う。

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
67	井原市	産業振興	鉄道井原線利用促進支援事業	鉄道井原線の利用促進に資するため、現在行われている利用促進事業のサポートを行うことはもちろんのこと、利用促進に繋がる調査・研究を行う。また、井原市内4駅を中心に、高齢者や障害者に対し、要請により乗車サポートなど実施し、利用者の利便性の向上に資する。
68	高梁市	治安・防災	JR備中高梁駅東駐輪場管理事業	JR備中高梁駅東駐輪場(60台)に管理人を置き、駐輪場内の自転車・バイクの整列等の管理を行うとともに、駅東の不法駐車や放置自転車の監視や駐輪場への誘導等を行い観光都市「高梁」の駅東周辺の良い環境の保全や安全安心を図る。
69	新見市	農林漁業	耕作放棄地防止対策(ヤギによる雑草対策)事業	米の価格下落、生産調整、農業従事者の高齢化、担い手の不足など、耕作地の荒廃は年々拡大している。食料が充足している現在は問題ないが、将来の食料不足に備えて耕作地はきちんと保全していく必要がある。このため、雑草対策を省力化する方法として「ヤギ」による耕作放棄地防止対策を市内で展開できるかどうかを試験・検証するもの。
70	新見市	環境	屋上緑化エコマット製品開発研究事業	地球温暖化防止対策として、屋上緑化によるヒートアイランド現象の緩和の効果が報告されている。この結果に基づき、屋上緑化で利用するマット等の資材に、地元木材の樹皮等を活用した製品開発に取り組む。また、木材資源が豊富にある当市の利点を生かして、将来的に市の地域ブランド商品としての販売開拓に取り組む。併せて、温暖化防止等環境問題への取組みを積極的にPRする。
71	新見市	情報通信	新規産業雇用創出事業	新見市の新規産業である、ケーブルテレビ事業の自主放送を充実させるため、新規に人材を雇用し番組の充実を図る。
72	備前市	産業振興	地域特産品PR・販売促進事業	市内で生産される食品や工芸品等の特産品に関する情報を収集し、生産者情報、品目、生産量、生産時期等に関するデータをとりまとめて台帳整備を行うとともに、新たに発掘された商品を含めた市内一円の特産品マップ及び特産品カレンダーを作成し、都市部へ向けて地域のイベント情報・観光情報等を発信する事業
73	赤磐市	介護・福祉	高齢者いきいき事業	年々高齢化率が上昇し超高齢化社会に向け進む中、市内に1,000人を越えていると言われる一人暮らしの在宅高齢者の把握と、相談支援事業を新たに行なうため社会福祉協議会の各支所4箇所に臨時職員を雇用して、それぞれ1名配置する。事業の内容としては、ひとり暮らし高齢者等の自宅を訪問して実態把握を行いサービス提供の必要性の有無や、安否の確認、話し相手になり孤独感の解消を行うとともに、高齢者が安心して地域で生活が行えるような組織作りを進め福祉の向上を図る。
74	赤磐市	産業振興	地域特産品販売促進事業	地域特産品であるこれ里ワインの販路拡大と販売促進のため、各種物産展への参加や小売店等への訪問、アンケート調査など、地ワインとしての販売戦略を展開する事業
75	真庭市	農林漁業	木質バイオマス等集積・変換・供給体制整備事業	主に木質バイオマスの多用途利用を推進し、新産業を創出していくため、平成20年度補助事業で建設している「真庭バイオマス集積基地」に廃棄物及び未利用のバイオマスを大規模に集積し、粉砕・チップ化してストックし、ボイラ用燃料・工業製品用素材・エタノール・微粉碎実験等の原料として安定供給していく。森林組合、素材生産組合、製材所等と連携を密にしながら、原料の収集・運搬・加工等の業務を行う。具体的な作業としては、木質バイオマス等の集積、原木の皮むき、チップ化、粉砕及び供給運搬等である。また、この施設で製造した原料を元に新たな産業・雇用の創出を図る。
76	真庭市	農林漁業	まにわフォレストコーディネーター設置事業	バイオマス産業発展に必要な原料の安定確保に向け、森林において、搬出される一般用材以上の資源量がある風倒木、切り捨て間伐材等の利用を推進し、資源集積基地への集積拡大を図るフォレストコーディネーターを設置する。林地残材の所在、量を調査し、所有者、搬出業者、集積基地等関係者と協議し、搬出可否、最適搬出方法の検討、搬出スタッフの確保等搬出支援、経費精算業務等を行う。また、地域の未活用労働力を活用したソーシャルビジネスとしての定着を図る。
77	真庭市	観光	「観光回廊真庭」を全国発信する事業	平成18年12月からスタートしたバイオマスツアーは開始から約4200人を受け入れてきた。平成21年度には新たな展開として未利用資源(林地残材、製材端材、樹皮、稲わらなど)を集約し、燃料等の原料として加工・販売する「真庭バイオマス集積基地」が稼働する。訪れる視察者のニーズは多様化しており、工場見学だけでなく体験型観光への要望も増加している。地域内には多くの観光資源が点在しており、こうしたバイオマス資源と合わせた商品開発を行い、ツアーのコーディネートや問い合わせに広く対応できる職員を新規雇用し、WEB等により真庭市全体を全国に向けて発信する。
78	真庭市	産業振興	地域資源(グラッパ)活用の専門技術者を育成する事業	幅広い顧客ニーズに対応するために、ワインの搾りカスを再利用した蒸留酒を製造し、ブランドやリキュール等を製品化し「バイオマスタウン真庭」にふさわしい商品開発を行う事業。
79	真庭市	農林漁業	地域特産物販売促進及び遊休農地活用事業	意欲ある担い手農業経営者の育成を図り、遊休農地を仲介斡旋する等の農地保有合理化に関する事業
80	真庭市	観光	湯原温泉再生営業マン事業	全国に「湯原温泉」の営業に出向き、また、空き店舗を再活用する起業家の誘致、温泉街再生の景観づくりの提案や調整・とりまとめ、真庭の豊かな自然や豊富な食材活用、温泉病院等との連携の基に現代湯治場として温泉再生を行い、「現代湯治場・湯原温泉」の名前を全国に向けて発信し、真庭全体の誘客や地域振興を促進する事業。

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
81	真庭市	産業振興	地域づくり支援員配置による交流産業の活性化事業	地域の活性化と集落機能の再編強化を目的とし、地域自主組織の結成を推進するため、地域資源等を活用した地域づくりの企画・運営や地域活動の支援・相談を行うとともに、都市住民・NPO団体等を繋ぐネットワークづくりを行う。
82	真庭市	農林漁業	真庭市あぐりネットワーク確立事業	市内直売所(8箇所)では、設置場所、規模等の要因により品不足、品余り現象(需給のミスマッチ)、新たな売り先確保が課題となっているため、直売所間の生産販売情報の共有化・集荷システムの管理運用や都市部での販売チャンネルを開拓する事業を展開する。
83	美作市	農林漁業	ふるさと応援美作振興事業	平成21年度に有限会社特産館みまさかが大阪府箕面市にアンテナショップ(特産品直売所)をオープンします。主に美作市で生産した農産物等や加工品を直売する。3名の雇用を予定しています。農産物の販売だけでなく、広く美作市を知ってもらうための情報発信基地としての役割が期待されており、観光や企業誘致等の市独自の情報などをPRしていきます。言わば大阪(箕面市)における最前線で美作市の農業・観光宣伝等のトップとしての役割を担ってもらう。
84	美作市	環境	粗大ゴミ類リサイクル事業	現在美作市で受入が困難な粗大ごみを南部・北部美化センターで処理できるように、手作業による粗大ごみの解体、部品の選別作業を委託し、リサイクルを推進する事業。
85	美作市	農林漁業	森林環境整備員育成事業	美作市有林を中心に、市内森林の適正な管理のため、人工林の林分状況調査を行います。林業後継者の育成として、林業に必要な技術を講習会などで習得させる事により、フォレスター・伐木造材の出来る間伐選木士等をも養成していく。
86	浅口市	子育て	地域における子育て相談・支援事業	近年、核家族化が進み、子育てで悩む保護者が多くなり、市内の子育て相談件数が急増してきている。そのため、子育て中の親子に個々のケースに応じた適切な子育て支援を行う。24年3月31日以降も、3年間のノウハウを生かして、保育園独自で保護者のニーズに応じた同様の事業を継続するよう努める。
87	早島町	介護・福祉	早島町コミュニティバス運行事業	高齢化の進展や核家族化により、マイカーを利用できない高齢者が増加している。特に、昭和後期に開発された団地(9地区)は、本町北部丘陵に位置し坂が多いため、高齢者が通院や買い物などの日常生活を送ることに支障が生じている。そのため、バス事業者に運転手の雇用によるコミュニティバス(仮称)運行を委託し、団地と町中心部や早島駅とのアクセス改善を行う。
88	矢掛町	子育て	子育て支援事業	矢掛商業高校(廃校)跡地内施設において、サロン(ノーマライゼーションの思想を取り入れた、主に子育て中の親子を中心として誰でもいつでも気軽に集える場)を開設し、子育て中の親子等が集まり、ふれあい交流していく場を設ける。さらに、平成24年度以降も継続して開設実施する予定である。
89	矢掛町	介護・福祉	おたすけサポーター派遣事業	外出困難者から依頼のあった買物や繁忙期の保育園への送迎等、ちょっとした用務の代行を行う。
90	矢掛町	介護・福祉	いきいき健康地域づくり事業	ミニお達者教室(一般高齢者に対するセラバンド体操など) ・わいわい健康クラブ(特定高齢者に対するスポーツクラブ講師による運動指導(3ヶ月の長期コース)) ・いきいき健康リーダー養成講座(一般高齢者に対するスポーツクラブ講師による運動指導) ・いきいきサロン「出前講座」(一般高齢者に対する介護予防の運動指導や健康・認知症についての講義等を行い、介護予防の早期発見を促す)
91	矢掛町	治安・防災	消費者行政相談業務事業	消費生活相談員養成講座を受講した相談員が消費者行政に対する相談業務や啓発活動を行い、住民が安全で安心して暮らせる生活環境の実現を図る。
92	矢掛町	介護・福祉	一人暮らし老人見守り事業	巡回戸別訪問等を行い、一人暮らしの高齢者を見守りながら生活の支援を行ったり、話し相手になることで、最近増加傾向にある孤独死を防止する。また、一人暮らしの高齢者を見守ることができる地域づくりを行う。
93	新庄村	農林漁業	森林セラピー活性化戦略事業	昨年春に岡山県で初めてとなる「森林セラピー基地」に認定され、村と任意団体である新庄村森林セラピー協議会が中心となって地域の活性化に向けた取り組みを行っている。今年5月のグランドオープン後、村内外からの問い合わせに対する窓口業務と宣伝PR、新庄村の豊かな自然を活用した体験ツアーの企画、森林セラピストの資格習得等を新庄村森林セラピー協議会に委託し、新たに1名を雇用する。
94	新庄村	農林漁業	6次化商品開発販売推進強化事業(新商品開発・販路拡大)	新庄村の基幹産業である水稻のヒメノモチ等を中心とする農産物を利用した新たな6次化商品の開発と販路の拡大に併せ、地域流通加工用米による農家の生産拡大を強力に押し進めるため、村内唯一の農産物加工直売施設を運営する第3セクターに委託し、新たに2名を雇用する。
95	新庄村	農林漁業	山の駅集客力増強事業(地産地消推進と利用者拡大)	地産地消推進と利用者拡大(新庄村唯一の宿泊施設である山の駅あじわいの宿新庄の利用の拡大に向け、村内で採れる山菜や農産物を利用した新たなメニューづくりにより独創性のある施設づくりを行い、集客力の増強につなげるため、施設の運営を行う第3セクターに委託し、新たに2名を雇用する。

ふるさと雇用再生特別基金事業一覧(平成23年度)

整理番号	実施市町村名	分野区分	事業名	事業内容
96	新庄村	産業振興	新庄村総合活性化センター設置事業	観光、体験、定住、特産品など村外からの広範囲にわたる問い合わせに総合的に対応するため、行政、各種団体、住民との調整や連携業務を担う総合活性化センターを設ける。
97	鏡野町	農林漁業	かがみの農業持続化支援事業	(1) 集落営農組織の育成 町・農業委員会・農協・普及指導センター等の関係機関と連携を図りながら、集落営農のモデル集落を選定するとともに、未組織集落の代表者宅等に出向き、集落営農の具体的な効果を確認させて、集落営農の意識高揚に努め、それに取り組む動機付けを行う。さらに、組織化に向けた情報の提供、先進事例の紹介、補助・融資事業の活用等の支援・助言を行う。また、既存組織も含めた町レベルでの集落営農の組織化を図る。基金事業終了後も引き続き、農業委員会、農協等各種団体と連携して集落営農組織の育成を図り、農業の振興を図る。(2) 耕作放棄地の解消 農業上の利用増進を図るべき農地として位置づけられた農地の所有者等に対し、利用権設定のための斡旋(直接面談)等を実施するとともに、集落座談会等を通じて耕作放棄が懸念される農地の発生防止に努める。
98	鏡野町	農林漁業	葉わさび特産品化事業	地域内特産品開発に都市の知恵、感覚を取り入れ広く時代のニーズを加味した開発を行う。ハウス栽培葉わさび、わさびの種苗の再利用、種採取圃場の整備。従来の根わさび栽培圃場の造成費は非常に高く種採取のみを目的とした圃場を休耕田の。活用で設置し、葉わさび栽培の低コスト化を図る技術を確認する。葉わさびの新商品を開発し、特産品として販路拡大を目指す。
99	鏡野町	情報通信	かがみの夢未来づくり事業	町民と、町内企業あるいは観光施設等の勤務者を対象として、パソコン活用能力向上を図る講習を開催し、鏡野町の恵まれたインフラ(光ケーブルによるCATV等)を活用し、情報発信が行なえる技術の習得を目指すとともに、特産物のネット販売などによる産業の振興を図る。利用者の目的に合わせて、幅広いスキルを習得できるように「一般町民」「直売施設生産者」「観光施設スタッフ」を対象とするカリキュラムを組み、個々の立場や力量に応じた内容を受講できる体制を築く。また(パソコン講習会とは別に)希望事業所等に対しては、現地に赴きサポートする体制を設ける。鏡野町全体のスキルアップを目指しており、当初は講師も不慣れであることと受講者の増員を図るため受講料は無料とするが、将来定着化が図れたら受講料を徴収し運営の自立化を目指す。
100	勝央町	教育・文化	埋蔵文化財整理作業員人材育成事業	町内の遺跡から出土した埋蔵文化財は整理作業を経て作成される発掘調査報告書に掲載され、その成果が一般に公開されることから、未だ報告されていない出土品の整理作業の一部(土器洗浄・復元・実測など)を民間に委託する。同時に、整理作業を通じて専門的技術を習得し、今後の文化財整理に携わる人材を育成する。
101	勝央町	教育・文化	勝央町健康スポーツクラブ設立事業	勝央町のスポーツ振興及び健康づくりのため、環境の改善・向上に向けて、健康で活力ある町づくりを行うため次の事業を行う。現在当町は、軽スポーツ・レクリエーション・競技の各団体がそれぞれ単独の運営・活動を行っていますが、これらの団体の協力を得ながら子供から高齢者が「だれでもスポーツが楽しめる」環境作りのための関係機関の調整・一般事務及び会計運営等を行う。
102	奈義町	農林漁業	特産品開発・体験交流促進員確保事業	本町は豊かな自然環境に恵まれ、米や野菜、黒豚などの魅力ある地場産物は数多くあるが、この産物を手軽に味わえるよう加工して「特産品」として幅広く流通させるため、交流促進員を新規雇用し、次の業務を行う。奈義町の観光・都市交流の拠点である「那岐山麓山の駅」において、新たに奈義町産の米粉を利用した「米粉パン」「米粉うどん」等の開発を行い、体験教室での指導、レストランメニューや地元の学校給食等へ提供し、地産地消や食育の推進を行う。
103	奈義町	観光	奈義町観光推進員確保及び案内所管理運営事業	本町の魅力ある観光資源を、広域的な情報発信に向けた取り組みを積極的に展開するために必要な推進員を確保し、行政主導から民間主導へ向けた観光振興を行う。奈義町観光協会より観光推進員を新規雇用し、現状では及んでいなかったWebサイトや情報誌へ定期的な観光情報の発信、観光イベントの企画運営などを行い、リアルタイムな情報発信と地域活性化につながる活動を展開する。
104	西栗倉村	産業振興	西栗倉村の地域資源を活用したふるさと雇用再生事業	地域プロデュース組織「森の学校」(1年後に第3セク株式会社化する)を西栗倉村雇用対策協議会内に立ちあげ、①西栗倉村の木の家販売事業②地域メディア事業③体験プログラム企画運営事業を推進するものである。更に住宅関連事業で地域雇用を波及的に創造するため、次の事業を西栗倉村雇用対策協議会へ委託して森の学校と連携して行う。①事業の総合企画開発研究部門、②年間300haの山林から出る木材を加工し住宅用材として高付加価値を付して販売する部材供給研究部門、③間伐材の原木を選別することにより最適な販売ができる品質管理研究部門、④木材の人工乾燥させ用途にあった乾燥技術を研究する部門、⑤木工加工品を開発し地場産業の競争力を向上させる開発研究部門、⑥山林施業を行うオペレーター、作業道敷設管理者の養成する部門
105	美咲町	情報通信	みさきネット活用推進事業	町内世帯の9割が加入しているラストワンマイル整備事業の有効活用を図ることを目的として下記の業務を行う。①新たにきめ細やかな地域情報の取材を行いより充実した自主放送を創造しCATVへの加入推進を図る。②みさきタウンテレビ接続推進調整業務(デジタル放送移行推進員)